



雪の里情報館ってどんなところ？

ここは、雪害救済運動によって昭和8年に設置された、旧農林省積雪地方農村経済調査所(雪調)の跡地に、当時の建物の一部を保存・復元して設置されました。現在も雪国の情報を総合的に収集し、各種のセミナー・展示などを中心に情報発信しています。

常設展示室（無料）

■旧雪調一展示室

常設展

- 第1情報展示室 「雪の大地が語りかける」
- 第2情報展示室 「雪のふるさとに生きる」
- 第3情報展示室 「雪害救済運動発祥の地」
- 第4情報展示室 「雪国からの地域振興」

企画展

- 第5情報展示室 「雪をとらえ雪をいかす」
特別企画展『雪への多様な考察』（H22.6～）

■雪国ギャラリー

地元(出身)作家の自主的な出展を促し、市民と共に多種多様な作品類を展示。

雪国ライブラリー

雪に関する図書資料や雪の絵本、そして地域史などの資料がそろってます。

特に貴重な資料としては、昭和初期の雪国の生活や農村経済の資料報告書(積雪地方農村経済調査所の調査収集した資料)が書庫に収蔵されており、研究者にとっては資料の宝庫です。

※閉架書庫の閲覧には、申請書類に記入してからとなっております。

ライブラリー内には、沼田小学校4年生のジオラマで「30年後の新庄」、未来のまちづくりということで環境をテーマにした作品を飾っております。子どもたちの考える楽しいまちになってます。

2F 会議施設の貸出し（有料）

※夜間使用は金曜日のみ

■雪国文化ホール—100人程度の会議・講演会・発表会などで使用

午前(9:00~12:00)	午後(13:00~17:00)	夜間(18:00~22:00)
2,520円	3,360円	3,690円

■情報交流室—20人くらいまでの会議・研修会・練習場所などで使用

午前(9:00~12:00)	午後(13:00~17:00)	夜間(18:00~22:00)
560円	750円	830円

■視聴覚研究室—20人くらいまでの会議・研修会・練習場所などで使用

午前(9:00~12:00)	午後(13:00~17:00)	夜間(18:00~22:00)
560円	750円	830円

いつもピカピカで気持ちの良い会議ができますよ！

★仮予約は半年前から。3日前まで申請・納金してくださいね。

見学ガイド

ゆっくり自分のペースで見学するもよし。もし、もっと詳しく雪の里情報館を知りたい方は、ぜひガイドの予約をしてください！ボランティアガイド雪華の会が丁寧な解説をいたします。もしくは、本館長が英語を活かした愉快的案内をいたします。

ゆきのさとつうしん
 ＊ 雪の里情報館 ＊
 〒996-0086
 山形県新庄市石川町 4-15
 Tel : 0233-22-7891
 Fax : 0233-22-7860



平成22年度の催し案内

指定管理者企画提案事業／
遊学館地域生涯学習活性化支援事業

第53回市民雪セミナー

『さばく 沙漠の雪は生命の いのち 源 みなもと』

(独)防災科学技術研究所

雪氷防災研究センター新庄支所

総括主任研究員 阿部 修 氏

受講無料

日時：5月30日(日)午後2時～

場所：2F雪国文化ホール

雪国に住む私たちにとって雪は厄介なものです
が、水の極端に少ない沙漠に住んでいる人たち
にとって、雪はどんな存在なのでしょう。

【雪国ギャラリー】

『雪国おしどり作品展』

～能面・クレイクラフト(粘土細工)

手作り装飾品など～

作者：五十嵐正臣・千代子夫妻(新庄市在住)

日時：6/8(火)～7/30(金)

場所：1F雪国ギャラリー

入館無料

【特別企画展】

第1部『雪への多様な考察』

～雪結晶研究の歴史についてや雪の美しさ、
地球環境危機と『雪』問題などをテーマに企画展示～

日時：6/8(火)～

場所：1F展示棟 第5情報展示室

～H22年度予定されている作品展示～

【雪国ギャラリー】

8～9月 新庄北部地区合同文化展

10～11月 MOREモガミモダン～田中晴樹 木のデザイン展

12～1月 雪国の蔓細工と木工クラフツマンシップ展

2～3月 みちのく春夏秋冬写真展

【特別企画】

◆8月6日(金)雪の里夏雪体験バスツアー

◆2月6日(日)雪の里まつり

◇6月末日～「雪」作文コンクール募集

※平成22年度に計画案として予定されている催しです。
日時・内容等、変更することがございますのでご了承ください。

～館長のひとりごと～

昨年、「国の宝ここに在り」と京都大学のある先生が言ってくれました。彼は昭和初期の世界恐慌時の疲弊した農村経済の研究者でした。

さて、今年は松岡俊三先生の生誕130周年にあたります。ご案内のように先生は、本館の前身である「積雪地方農村経済調査所」の産みの親とも言うべき人で、雪国救済を唱えた村山市楯岡出身の代議士でした。

皆さん、ここは日本雪氷学会の発祥の地でもあります。今、若い世代にその“存在意識”を伝えなければと強く思います。

